

令和7年10月23日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部感染症対策課

担当：森本、中島

電話：972-3378

新型インフルエンザ実地訓練の実施について

1 趣 旨

次の感染症危機に備えるためには、市の感染症予防計画に基づき、実践的な訓練を通じて、平時の備えについて継続的に点検・改善を行うことが重要となっております。また、2026年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会に備え、健康危機管理対応力の強化が必要です。

感染症の中でも、急激に感染が拡大し、市民の生命や健康、さらには経済全体に大きな影響を及ぼす可能性がある「新型インフルエンザの発生」に対し、今回の訓練では、市内で患者が確認されていない段階における疑い患者への対応について、感染症指定医療機関である「日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（以下、「日赤名古屋第二病院」といいます）」および医療措置協定締結医療機関である「聖霊病院」と連携して訓練を実施いたします。

（※医療措置協定締結医療機関:感染症法第36条の3第1項に規定する医療措置協定を県との間で締結している医療機関）

2 日 時

令和7年11月4日（火）午後1時30分～午後4時30分（予定）

3 公開内容

（1）聖霊病院

- ・患者移送用バッグを使用した患者の移送

（2）日赤名古屋第二病院

- ・患者移送用バッグを使用した患者の受入

4 訓練想定

（1）発生状況

新型インフルエンザの初発患者はX国において発生し、日本国内でも発生が確認されているが、名古屋市内では発生していない状況。

（2）患者情報

港区内在住の女性（20代、父母と同居）は11月4日（火）に昭和区の職場に出勤後、発熱を確認したため、近隣の聖霊病院を受診した。なお、女性はX国に旅行中、同国で暮らす友人（新型インフルエンザと確定した患者）と行動を共にしていた。

5 訓練内容

- (1) 新型インフルエンザに対する聞取調査及び関係機関との調整
- (2) 市保健所・保健センターによる患者の受入調整
- (3) 聖霊病院での診察と検体採取
- (4) 検体搬送
- (5) 患者移送用バッグを使用した患者の移送
聖霊病院→日赤名古屋第二病院（取材可能）
- (6) 入院勧告
- (7) 情報伝達訓練

6 昨年度訓練風景の一例

患者受入

